

情報環境整備計画で目指す教育・学修効果(学修成果のアウトカム)の課題
令和7年(2025年)度

令和6年7月29日
公益社団法人 私立大学情報教育協会

目指す 教育効果 教育効果 達成の課題	1. 遠隔授業システムを用いて、学生の学修機会を確保し、学修内容の理解度向上を図る		2. LMS(学修支援システム)等を用いて、事前・事後学修の学修時間を増加し、知識定着と理解度向上を図る		3. 教員と学生間のコミュニケーションを促進し、主体的な学修の促進を図る		4. 反転授業やeラーニングを普及し、知識・技能の定着を図る		5. アクティブ・ラーニング、PBLなどの学生主体授業を充実し、問題発見・課題探求力の向上を図る		6. 教員と学生、学生同士による双方向型授業を充実し、学修意欲などの向上を図る		7. 地域社会や産業界と連携した授業を充実し、課題解決力と実践力の向上を図る		8. 教え合い・学び合いのグループ学修を充実するとともに、発表・相互評価を通じて主体性・多様性・協働性の向上を図る		9. 分野を横断した学びを実現し、知識の組合せ、発想力・構想力・価値創造力等の向上を図る		10. 海外大学との遠隔授業などを実現し、グローバル化対応力の向上を図る		
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数
① 学内LAN・ICT環境の整備	64	27%	55	17%	48	19%	31	15%	52	20%	46	20%	19	16%	37	22%	13	14%	15	18%	
② 遠隔講義、LMS等の支援体制	65	27%	64	20%	44	18%	23	11%	30	12%	34	14%	25	21%	23	13%	14	15%	22	26%	
③ LMS活用のFD	26	11%	65	20%	43	17%	25	12%	27	11%	33	14%	12	10%	25	15%	11	12%	8	10%	
④ 反転授業・eラーニングのFD	16	7%	25	8%	25	10%	54	27%	29	11%	27	11%	9	7%	16	9%	9	10%	7	8%	
⑤ 教員の意識改革と組織的取組み	34	15%	60	19%	61	25%	31	15%	65	26%	56	24%	32	26%	42	25%	25	27%	17	20%	
⑥ 教材開発・作成の支援体制	32	14%	49	15%	27	11%	38	19%	51	20%	39	17%	24	20%	28	16%	19	21%	15	18%	
合計	237	100%	318	100%	248	100%	202	100%	254	100%	235	100%	121	100%	171	100%	91	100%	84	100%	